

平成 23 年
第 4 回定例会

12月13日から16日までの会期で開催され、多岐にわたり審議が行われました。

旧大和中校舎跡地に 給食センター建設へ



平成 23 年
第 4 回定例会

12 月 13 日から 16 日までの会期で開催され、多岐にわたり審議が行われました。

旧大和中校舎跡地に
給食センター建設へ

高久家の修繕工事

問 まち並み環境整備事業の中で、高久家（重伝建地区で建物だけ市が寄附を受けたもの）を今後どのような施設として活用するのか。

答 公開施設に適するような施設にしていきたいと考えています。

問 高久家設計委託料二〇〇万円について、普通の民家でありながら、なぜ公共の鉄筋コンクリート建物と同じようなやり方をするのか、積算根拠を伺う。

答 今回の設計委託の基本ベースとして考えているのは、四、〇〇〇万円です。坪数は、建物一・二階、付属建物で約八十坪です。これに裏側の庭の休憩的なポットパークの整備費用も含まれています。

図書のI・Cタグ

問 四、〇〇〇万円の財源の内訳は。

答 国が二分の一、市が二分の一です。

問 真壁伝承館図書館の図書には、ＩＣタグがついて図書の貸し出しが非常に便利になったが、大和、岩瀬中央公民館図書室ではいつから使用可能になるのか。

答 ＩＣタグの件は現在作業を進めており、年度中にはと考えています。

谷貝公民館の工事

問 谷貝公民館の工事費は、どの程度になるのか。また、今回の補正予算に組んであるが、夏ぐらいまでには使えるようになるのか。

答 工事費は七二〇万円を

学校給食センターの統合

問 学校給食センターの統合について、小中学校適正規模等検討委員会では、当初南学校給食センターの増築が望ましいとの答申であったが、旧大和中学校跡地を建設用地とすることに経緯は。

答 学校給食センター整備検討委員会を設置して協議した結果、南学校給食センター敷地では建物の配置上面積不足で、敷地の拡張が必要となるが、高低差が四メートルあり、造成費用が多大になることから、阿部田地区市有地が望ましいとの結果になっていました。しかし、三月十一日の東日本大震災で液状化現象がクローズアップされ、阿部田地区が埋立地であることへの懸念が示され、新たな候補地として旧大和中学校跡地を加え、最終的に学校給食センター建設委員会において比較検討した結果、最終決定がなされました。

企業誘致の推進

計上しており、年度内に完
成させたいと思っています。

問 都市計画業務委託料一五九万円は、大和駅から国道への道路の測量費用か。

答 企業誘致の推進を前提とし、これを促進するための道路、水路等の基盤整備を進め、一刻も早い企業誘致を実現するための委託料です。

スポーツ振興課
ラスカへ移転

問 ラスカへ教育関係、スポーツ関係の移転があるのか。

答 現在、「係体制」の中で、一人の係や二人の係が結構多い状況になってきており、それを解消するため、管理的なものも検討した中でグループ制の導入を考えています。総合的に一カ所にまとめて管理も一緒に行えるので、ラスカの

県西総合病院の
建て替え

問 市長は「県西病院の単独建て替えは不可能なので、中核病院事業とともに建て替えるほか方法がない。県西病院単独建て替えは不可能だ」と決めている

ように聞こえるが、その根拠は。数字的にどういう比較の中で判断をしたのか。

答 私は、不可能だという話はしたことがありません。仮に二九九床で建て替えるをした場合には、一床二、〇〇〇万円で約六〇億円、電子カルテ導入で三億円です。それで、補助金も交付金ももらえないと勘案した場合には、中核病院と連動した形の中で考えた方が県西病院建て替えに對して方向性が見えるのではないか。また、建て替えをしても医師不足という問題等も出てきますので、この初も勘案しながら考えていかなければならないというお話はさせていたきます。

防災業務の一本化

ほうへと考えています。最終的にしつかりとした形がでし上がった段階で報告をします。

問 防災指令業務の一本化をする電波伝搬調査費用だが、筑西広域圏内単独と、県一本化で行う場合の内容を比べて負担金が妥当なのか、積算根拠について伺う。

答 調査の内容は基地局の設置、局がカバーする無線エリアを明確にして実施設計につなげていきたい。

平成二十三年
度中で費用は
全体で二、七
四〇万円
です。この
内、県が二分
の一で、一、
三七〇万円
、残る調査
費を参加四十
一市町村で負
担しますので
、桜川市の負
担は三二万八
、〇〇〇円
です。

公債費の増額

問 公債費増額等があったが、桜川市の公債費の合計は、

答 平成二十三年度の起債借り入れ総額は、今回の補正も含めて、約一七億四、〇〇〇万円です。災害関連で、特に増えてしまいました。平成二十二年度の一般会計で、起債総額が一五六億円という状況で、公債負担比率や実質公債費比率等の財政指標の数値を見ながら、今後の起債の借り入れに注意して運営していきたい。



岩瀬庁舎の防災無線室